

-----2月8日-----

2021年

## ※ 今週のアウトルック (2/8~2/12)

先週末に発表された米国雇用統計は、ほぼ予想の範疇でサプライズが期待された分、発表後はドル売りがやや進む動きとなりました。

今週は、米国の景気刺激策期待がやや出てきている中、ドル売りがどの程度で終息するのか、再び上昇トレンドに乗って行けるのかがポイントとなりそうです。

先週のドル円は、米国雇用統計発表直前に105.75付近まで上昇したものの、発表後は一転して下落して105.3付近まで下落してそのままNY市場を終了しています。

今週は、月曜日にどのあたりで下げ止まるかがまずは注目されますが、利益確定が優勢となり、大きく調整する可能性も考慮しておいた方が良さそうです。

ドル円の予想レンジは104.3円から105.75円です。

先週のユーロ円は、金曜日には126.8円付近で底値を確認した形となり、再び127円付近のレジスタンスブレイクに向けて動き出した形となっています。

今週は、127円付近のレジスタンスブレイクに成功するのかがまずは注目されますが、今週ブレイクできる可能性は6割程度と考えています。

ユーロ円の予想レンジは126円から128円です。

ポンド円は144円を突破して、本格的な上昇トレンド入りした様子です。145円付近のレジスタンスをブレイクできれば、次のターゲットは148円付近となりそうです。

ポンド円の予想レンジは143円から147.5円です。

市場のセンチメントとして、やや警戒感が強くなっているようです。デリケートな動きをする時間帯も出てきており、今後、警戒感がいっそう強まりそうです。

### \*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。